



週間情報



No.0742

発行日 令和7年11月4日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆令和7年度全国消防長会役員会を開催

全国消防長会

令和7年10月31日（金）、静岡県静岡市のホテルグランヒルズ静岡において、令和7年度全国消防長会役員会を開催しました。

役員会における議案審議と報告事項は、次のとおりです。

【議案審議】

- 1 令和8年度消防関係予算の所要額確保について
- 2 第49回全国消防職員意見発表会の開催について
- 3 第10回予防業務優良事例表彰について
- 4 次期役員会の開催について

【報告事項】

- 1 令和8年度国の予算概算要求に関する要望の措置状況等について
- 2 マイナ保険証を活用した救急業務（マイナ救急）に係る経費の徴収の詳細について
- 3 ISO/TC94/SC14（消防隊員用個人防護装備）国際会議（オーストラリア）の概要について
- 4 紙媒体資料の電子化について
- 5 一般財団法人全国消防協会消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文規程の改正について
- 6 令和8年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 7 日本消防防災情報センターにおける活動動画の素材提供について
- 8 第54回全国消防救助技術大会の日程等について

【配布資料】

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険について



【市川全国消防長会会長あいさつ】



【役員会の様子】

◆全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

令和7年10月31日（金）、静岡県静岡市のホテルグランヒルズ静岡において、全国消防長会常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議と報告事項は、次のとおりです。

【議案審議】

- 1 令和8年度消防関係予算の所要額確保について
- 2 第49回全国消防職員意見発表会の開催について
- 3 第10回予防業務優良事例表彰について
- 4 次期常任理事会の開催について
- 5 次期役員会の開催について

【報告事項】

- 1 令和8年度国の予算概算要求に関する要望の措置状況等について
- 2 マイナ保険証を活用した救急業務（マイナ救急）に係る経費の徴収の詳細について
- 3 ISO/TC94/SC14（消防隊員用個人防護装備）国際会議（オーストラリア）の概要について
- 4 紙媒体資料の電子化について
- 5 一般財団法人全国消防協会消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文規程の改正について
- 6 令和8年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 7 日本消防防災情報センターにおける活動動画の素材提供について
- 8 第54回全国消防救助技術大会の日程等について

※役員会と同内容のため説明は省略

【配布資料】

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険について



【成澤静岡市消防局長 開催地あいさつ】



【常任理事会の様子】

◆一般財団法人全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催

一般財団法人全国消防協会

令和7年10月31日（金）、静岡県静岡市のホテルグランヒルズ静岡において、一般財団法人全国消防協会通常理事会及び臨時評議員会を開催しました。

通常理事会及び臨時評議員会における議案審議と報告事項は、次のとおりです。

○ 通常理事会

【議案審議】

- 1 令和7年度収支予算の補正予算（案）について
- 2 全国消防救助技術大会実施計画の改正（案）等について
- 3 臨時評議員会の開催について
- 4 賛助会員の加入について

【報告事項】

- 1 通常理事会の開催について
- 2 機関誌「ほのお」等の電子化について
- 3 一般財団法人全国消防協会消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文規程の改正について
- 4 令和8年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 5 令和8年度全国優良消防職員表彰の表彰式日程及び地区支部別推薦割当人員について
- 6 第54回全国消防救助技術大会の日程等について

○ 臨時評議員会

【議案審議】

- 1 令和7年度収支予算の補正予算（案）について
- 2 全国消防救助技術大会実施計画の改正（案）等について

【報告事項】

- 1 臨時評議員会の開催について
- 2 賛助会員の加入について
- 3 機関誌「ほのお」等の電子化について
- 4 一般財団法人全国消防協会消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文規程の改正について
- 5 令和8年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 6 令和8年度全国優良消防職員表彰の表彰式日程及び地区支部別推薦割当人員について
- 7 第54回全国消防救助技術大会の日程等について



【通常理事会の様子】



【臨時評議員会の様子】

◆ 第74回全国消防長会危険物委員会を開催

全国消防長会危険物委員会

令和7年10月16日（木）、香川県坂出市（坂出グランドホテル）において、第74回全国消防長会危険物委員会を開催しました。

会議における議案等は、次のとおりです。

【消防庁講話】

危険物行政の最近の動向について

【議案】

- 1 製造所等の定期点検に係る周期の合理化に関する運用上の課題について
- 2 危険物施設の消火設備について
- 3 水溶性液体用泡消火薬剤の混合時における消火性能の確認について
- 4 コンビナート事業所における場外移送配管及び保温材下の配管からの漏えい事故防止に対する消防本部の取り組みについて
- 5 次期開催地について

【情報提供】

- 1 消防庁特殊災害室
「石油コンビナート行政の動きについて」
- 2 消防庁消防大学校消防研究センター
「消防研究センターの体制と事業概要について」
- 3 東京消防庁
「噴射剤を含む危険物判定試験の前処理手法について」
- 4 危険物保安技術協会
「危険物保安技術協会の情報提供」
- 5 一般財団法人全国危険物安全協会
「一般財団法人全国危険物安全協会の情報提供」
- 6 一般財団法人消防試験研究センター
「危険物取扱者試験の現況と受験者増加対策への取り組み」



【委員長あいさつ】



【委員会の様子】

◆ 消防実務講習会（令和7年度火災調査研究発表会）を開催

一般財団法人全国消防協会東海地区支部

一般財団法人全国消防協会東海地区支部では、令和7年10月16日（木）、愛知県名古屋市（伏見ライフプラザ）において、消防実務講習会（令和7年度火災調査研究発表会）を開催しました。

事例発表の内容は、以下のとおりです。

【事例発表】

- (1) 「射出成型機火災の原因究明及び再発防止対策について」
大府市消防本部 畑山 侑貴 氏
- (2) 「落雷による火災事例」
西春日井広域事務組合消防本部 米本 拓朗 氏
- (3) 「樹木の先端が高压電線に接触し出火した事例」
郡上市消防本部 古池 政人 氏
- (4) 「家庭用フィッシュロースターから出火した事例の原因究明と火災原因損害調査の取組みについて」
名張市消防本部 野間田 裕 氏
- (5) 「ガス漏れ事案から考える火災原因調査の進め方」
名古屋市消防局 山口 聖人 氏

【特別講演】

「E V車火災の消火方法及び火災事例について」

大阪市消防局 佐藤 恭平 氏



【東海地区副支部長あいさつ】



【講習会の様子】

行 事

◆ 「火災予防啓発ノート寄贈式」を実施

静岡県東部消防長会（静岡）

静岡県東部消防長会（下田消防本部、駿東伊豆消防本部、熱海市消防本部、富士山南東消防本部、御殿場市・小山町広域行政組合消防本部、富士市消防本部、富士宮市消防本部）では、令和7年10月7日（火）、「火災予防啓発ノート寄贈式」を実施しました。

このノートは、火災予防啓発およびLPガスのPR事業の一環として、一般社団法人静岡県LPガス協会東部支部から寄贈されたものです。

これまで、令和3年度から令和5年度までは防火啓発用のクリアファイルを寄贈いただいており、令和6年度と今年度は、同啓発ノート4200部を贈っていただきました。

当日は、LPガス協会東部支部の渡邊聡支部長他4人に対して、当消防長会会長から感謝状を贈呈しました。

今後は、寄贈品を静岡県東部地区の各消防本部のイベントにおいて、住民の皆さまに配布し、火災予防の啓発に役立ててまいります。



【贈呈式後の記念撮影】



【火災予防啓発ノート】

◆ 「消防職員の健康保持及び身体機能の維持・向上に関する連携協定」を締結

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和7年10月21日（火）、学校法人新静岡学園静岡産業大学及び株式会社Canvasと「消防職員の健康保持及び身体機能の維持・向上に関する連携協定」を締結しました。

この協定は、大学機関によるスポーツ科学の知見や民間企業の最新技術を活用し、職員の健康上・身体上の問題を解消することを目的として締結したものです。

これは、職員の定年引上げに伴う取り組みとして、筋骨格系障害（MSDs）、熱中症リスク、身体機能評価、ストレス、睡眠、健康行動など、多角的なテーマを取り扱うことで、消防活動の実情に即したデータ収集と科学的根拠に基づく分析・評価を実施するものです。

これにより、増加が見込まれる60歳以上のシニア職員が、体力面・健康面に不安なく消防活動が行えるよう支援するとともに、持続可能で安定的な消防力の維持・強化を推進していきます。

今後も、職員全体の健康増進と体力向上を図り、組織の活性化と職員一人ひとりの「ウェルビーイングの実現」を目指してまいります。



【締結に伴う記念撮影】



【デモンストレーションの様子】

訓練

◆ 土砂災害対応訓練を実施

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、令和7年10月1日（水）、2日（木）、10日（金）の3日間、民間企業にご協力いただき、土砂災害対応訓練を実施しました。

当日は、延べ約90人が参加し、基本的手技を習熟することを目的とした基本訓練を行ったほか、想定付与から救出完了までを一連の流れで活動する総合訓練を実施しました。

最終日に実施した総合訓練では、「台風により大規模な土砂災害が発生した。」との想定で、民間企業の重機と連携しながら土砂に埋没している要救助者を救出しました。

また、2次災害防止の手順を確認することに重点を置き、土砂崩落監視センサーと安全監視員の警報による緊急退避を取り入れた訓練を実施したことで、安全管理体制の強化を図ることができました。

今後も、訓練を継続し、市民の安全・安心の確保のため、起こり得る自然災害に備えるとともに、消防力の強化に努めてまいります。



【基本訓練の様子】



【総合訓練の様子】

◆ 3 消防本部と合同で林野火災連携訓練を実施

甘木・朝倉消防本部（福岡）

甘木・朝倉消防本部では、令和7年10月10日（金）、隣接する消防本部（久留米広域消防本部、筑紫野太宰府消防組合消防本部、鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部）と合同で、林野火災連携訓練を実施しました。

この訓練は、大規模林野火災事案における火災状況を把握するため、相互の情報連絡体制を確立するとともに、連携活動能力の向上を図ることを目的として実施したもので、当日は、災害現場での円滑な活動につながる有意義な訓練となりました。

今後も、消防本部相互の協力体制の構築と連携力の強化を図るとともに、多種多様な災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 林野火災対応訓練を実施

川西市消防本部（兵庫）

川西市消防本部では、令和7年10月12日（日）、川西市国崎クリーンセンターにおいて、川西市消防団、兵庫県消防防災航空隊、株式会社ふるさと創生研究開発機構と合同で、林野火災対応訓練を実施しました。

この訓練は、近年多発している林野火災に対応するため、さまざまな機関と合同訓練を行うことで、総合的な組織対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「林野から火災が発生した。」との想定で、同研究開発機構が保有するドローンによる火点検索、当消防本部と同市消防団による長距離ホース延長、同消防防災航空隊と連携したバケット汲水、上空からの撒水活動を実施しました。

今後も、市民の安全・安心の確保のため、他機関との効果的な連携活動に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ チェンソー取扱い訓練を実施

新宮市消防本部（和歌山）

新宮市消防本部では、令和7年9月30日（火）、10月7日（火）、10月14日（火）の3日間、チェンソー取扱い訓練を実施しました。

この訓練は、地震災害や豪雨災害などの自然災害に備えるため、倒壊家屋からの救助や流木の除去などにおいて必要となるチェンソーの基本的な取り扱い方法を学ぶとともに、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、カネオフォレストワークから講師をお招きし、目立て技術といったメンテナンス方法を含めた切断訓練を実施し、状況に応じた切断方法や活動危険などを学ぶことができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 「令和7年度京都府消防長会消防法令違反是正事例研究会」を開催

京都府消防長会予防部会（京都）

京都府消防長会予防部会では、令和7年10月10日（金）、亀岡市内において、総務省消防庁と一般財団法人日本消防設備安全センターのご支援の下、「令和7年度京都府消防長会消防法令違反是正事例研究会」を開催しました。

この研究会は、府内消防本部の違反是正に携わる職員の知識の向上と予防業務の強化を図ることを目的として開催したものです。

当日は、府内消防本部の担当者40人が参加し、総務省消防庁派遣アドバイザーとして、岐阜市消防本部の片桐慎介氏、舞鶴市消防本部の赤崎弘也氏、京都中部広域消防組合消防本部の三觜啓史氏、オブザーバーとして、京都市消防局の山路明伸氏をお招きしました。

また、府内の3消防本部から提出された違反事例に対して、グループ討議を行った後に、各グループが討議結果を発表し、同アドバイザーなどから、妥当性や過去の事例に基づく助言などをいただき、大変有意義な研究会となりました。



【研究会の様子】

◆ 「令和7年度国際消防救助隊（東海地区）講演会」を開催

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、令和7年10月6日（月）、昭和消防署において、東海地区のIRT登録隊員と当消防局本部機動部隊の隊員を対象に、「令和7年度国際消防救助隊（東海地区）講演会」を開催しました。

この講演会は、震災救助現場における外傷観察要領および応急処置能力の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、株式会社ハートナーシング高松代表取締役の鎌野倫加氏を講師としてお招きし、震災救助現場特有の病態に対する処置、観察要領、救助と医療の連携についてご講演いただいたほか、震災救助現場を想定した机上シミュレーションを行い、非常に有意義な講演会となりました。

今後も、講演会で得た知識と技術を生かし、医療との連携強化を図るとともに、要救助者に寄り添った救助活動を実施してまいります。



【講演会の様子】

◆ 改修工事に伴う消防検査を活用した教養を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁神田消防署では、令和7年10月9日（木）、神田消防署大規模改修工事に伴う消防検査を活用した教養を実施しました。

当日は、予防係の職員による指導の下、泡消火設備の作動原理、泡消火薬剤の危険性、環境配慮が求められている廃棄処理の方法などについて、実践的な内容で教養を実施しました。

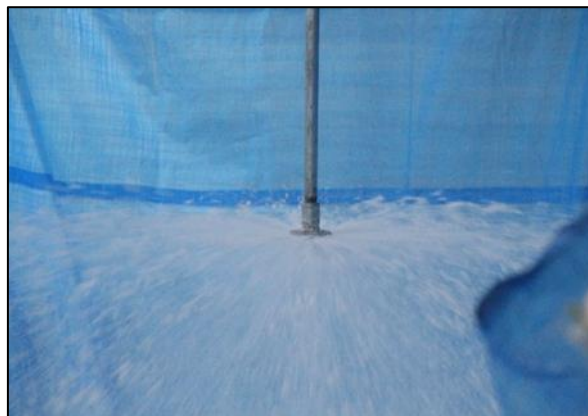
また、なかなか見る機会のない泡消火設備の放射試験を見学し、参加者にとって大変貴重な機会となりました。

経験の浅い職員から、「泡消火薬剤が発泡したのを初めて見ました。危険性をあらためて知ることができたので、今後の災害活動に生かしていきたいです。」との声を聞くことができました。

今後も、あらゆる機会を活用し、積極的に職員の知識と技術の向上を図ってまいります。



【教養の様子】



【泡消火薬剤が発泡する様子】

◆ 救急隊員研修（シミュレーション訓練）を実施

上尾市消防本部（埼玉）

上尾市消防本部では、令和7年10月9日（木）、10日（金）の2日間、救急隊員研修（シミュレーション訓練）を実施しました。

この研修は、救急現場における迅速かつ的確な対応技術や連携力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、指導救命士の企画・運営の下、プレ・アライバルコール（PAC）訓練、病院連絡訓練、内因・外因・分娩対応訓練を実施しました。

今後も、訓練を継続し、技術の向上と住民の安全・安心を守る体制の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【意見交換の様子】

そ の 他

◆ 消防功労者に消防長から感謝状を贈呈

栃木市消防本部（栃木）

栃木市消防本部では、令和7年10月14日（火）、消防功労者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年8月27日（水）、管内で発生した車両火災事案において、消防功労者の2人が連携して初期消火を行い、付近の建物への延焼拡大を未然に防止したものです。

消防功労者2人の勇気ある行動と迅速かつ適切な判断により、延焼防止と被害の軽減に大いに貢献しました。



【感謝状贈呈式後の記念撮影】

◆ 住宅用火災警報器の普及啓発動画を投稿

糸満市消防本部（沖縄）

糸満市消防本部では、令和7年10月17日（金）、糸満市公式YouTubeチャンネルに住宅用火災警報器の普及啓発動画を投稿しました。

これは、「糸満市の住宅用火災警報器設置率100%」をスローガンに、住宅用火災警報器のさらなる普及啓発を図ることを目的として作成し、投稿したものです。

この動画は、当市が誇るヒーロー「イトマンマン」、タレントの「バネ人間（外間友喜）」さんにご出演いただいたほか、ナレーションは、当市出身のラジオパーソナリティである玉城美香さんにご協力いただきました。

また、当消防本部職員と当市消防団員により、オリジナルソングの作詞、作曲、演奏、動画撮影、編集を行っており、当市ホームページにも掲載しているほか、いとまんコミュニティエフエム放送（FMたまん）において、当オリジナルソングを活用したCM放送を行い、住宅用火災警報器の普及啓発を図っています。

多くの方に知っていただけると嬉しいです。



【記念撮影】

◆ 救急業務啓発イベント「もっと知ろうよきゅうQたい」を開催

衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局では、令和7年10月11日（土）、19日（日）の2日間、知立市の知立ドリームマルシェ（11日）、碧南市の大浜てらまちウォーキング（19日）において、救急業務啓発イベント「もっと知ろうよきゅうQたい」を開催しました。

当日は、救急法体験のほか、消防車両の展示・写真撮影、非常食の配布などを行い、市民とコミュニケーションを図るとともに、さまざまな体験を通じて、救急業務に関する正しい理解と認識を深めていただく良い機会となりました。



【イベントの様子】

◆ 「2025美作市消防フェスタ」を開催

美作市消防本部（岡山）

美作市消防本部では、令和7年10月19日（日）、美作市制20周年記念の一環として、各関係機関にご協力いただき、「2025美作市消防フェスタ」を開催しました。

このイベントは、地域住民に消防活動への理解を深めていただくとともに、火災予防啓発を推進し、防災意識の向上につなげることを目的として実施したものです。

当日は、女子サッカーなでしこリーグ1部所属の「岡山湯郷Belle」の選手2人を一日消防長、一日消防署長に委嘱し、服装点検を行いました。

また、来場者が楽しみながら防災に関心を持っていただくことを目的として、救助訓練、緊急車両の展示、心肺蘇生法、資器材の重量当て、消防士と腕相撲、消防車と綱引き、煙体験、放水体験、ミニレスキュー体験などを実施しました。

今後も、防災イベントなどを活用し、地域の防災力向上に努めてまいります。



【イベントの様子】

消防学校からの便り

◆ 「令和7年度あおり女性消防吏員研修交流会」を開催

青森県消防学校（青森）

青森県消防学校では、令和7年10月22日（水）、県内各消防本部の管理職職員などを対象に、「令和7年度あおり女性消防吏員研修交流会」を開催しました。

この研修交流会は、女性消防吏員の活躍推進を図ることを目的として開催したものです。

当日は、110人が参加し、本県で女性初の緊急消防援助隊員として、大船渡市林野火災に派遣された八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部職員からの活動報告の後、「緊急消防援助隊に女性職員を派遣することについて」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

また、「可能性への挑戦（自分らしく働くことができる職場づくり）」をテーマとして、ワールドカフェ方式による積極的な情報交換が交わされ、大変有意義な研修交流会となりました。

今後も、県内各消防本部と連携し、女性消防吏員の活躍推進に向けて積極的に取り組んでまいります。



【活動報告の様子】



【研修交流会の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 鳥インフルエンザの発生事例について（お知らせ）

（事務連絡、令和7年10月22日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

今般、北海道白老町の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されたとの報告がありましたので、取り急ぎ情報提供いたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kyuuki251022.pdf>) に掲載されています。

連絡先：消防庁救急企画室

担 当：金子補佐、森係長、高山事務官

T E L：03-5253-7529

F A X：03-5253-7532

E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ 食品工場及び業務用厨房施設等における一酸化炭素中毒事故の防止について

(事務連絡、令和7年10月24日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記について、経済産業省産業保安・安全グループから別添により要請がありました。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/0e6b091707a8b37d8ebcd44d880604619ae13f63.pdf>)に掲載されています。

消防庁予防課予防係
担 当：谷川、櫻川
T E L：03-5253-7523

報道発表

◆ 火災予防啓発映像「ゆるサイと 火災・防災 再かくにん」の制作・発表

(令和7年10月24日、消防庁)

消防庁では、リチウムイオン蓄電池の火災対策や感震ブレーカーの設置を促進するため、火災予防啓発映像「ゆるサイと 火災・防災 再かくにん」を制作しました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/4394c4aed880c09aa9832f5c21dc6f60580a5d57.pdf>)に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課 川合・谷川・清水

T E L：03-5253-7523

E-mail:yobo_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供

◆ 横浜市消防局における令和8年度長期（1年間）職員研修の受け入れについて

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和8年度長期（1年間）職員研修の研修生を募集いたします。

この研修は、全国各消防本部の職員の皆さまを対象として、当局に派遣される職員の能力開発はもちろんのこと、当局でこれまで行ってきた各種施策・事業や奏功事例などを共有し、各本部の施策展開に役立てていただくことを目的としています。

また、当局としても、人口減少等により社会環境が大きく変化する中、市民・社会の要請に的確に応える組織であり続けるために、「創造と転換」による職員の人材育成や、組織の活性化が必要となっている背景を踏まえ、「新たな視点」で事業を推進していく機会にしたいと考えています。

さらに横浜市では、最上位のA1クラス（AIPH承認+BIE認定）としてGREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の開催が予定されており、それに伴う消防同意や関係機関との調整など、さまざま事業がございます。

今回、受け入れを実施するのは、横浜市消防局本部の各課となります（申込フォームに各課のセールスポイントを掲載しています。）。

なお、令和6年度長期職員研修として派遣いただきました方々（弘前地区消防事務組合、磐田市消防本部）からの1年間の経験談や、研修期間中の住まいとして希望することが可能な横浜市の待機宿舎情報（職員寮）もございますので、各課のセールスポイントと併せてご覧ください。



<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/78996a54-5295-4b01-b05e-5da48afae99e/start>

【横浜市消防局における令和8年度長期（1年間）職員研修 申込フォーム】

本研修への参加を希望される消防本部は、以下の要領をご確認のうえ、お申し込みください。

- 1 申込受付期間
令和7年11月1日（土）から令和8年1月30日（金）まで
- 2 申込方法
様式は問いません。
希望業務内容及び希望理由について記載し、電子メールにて、送付してください。
今回募集する研修生につきましては、研修に係る業務経験を有する（年数は問いません。）
『消防司令補以下職員』とします。
- 3 研修期間
令和8年4月1日（水）から令和9年3月31日（水）まで
- 4 研修中の身分、給与、旅費等
 - (1) 研修期間は、横浜市消防局の職員に併せて任命し、研修終了後に解任するものとします。
 - (2) 研修中の給与は、派遣元消防本部が支給し、当局の公務上の必要により旅行する場合の旅費については、当局が規定に基づき支給します。
 - (3) 研修期間中の住まいとして、横浜市の待機宿舎（職員寮）を希望することも調整可能です。
- 5 その他
疑義がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

横浜市消防局 総務部人事課人事係
担当：松本、柳澤
電話：045-334-6404
Mail：sy-jinji@city.yokohama.lg.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 吉田

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。